

◆パワーアップ研究セミナー開催実績◆

- 第1回 1990年7月19日、20日
新事業開発・推進の教育戦略—第1弾—
- 第2回 1990年10月24日、25日
新事業開発・推進の教育戦略—第2弾—
- 第3回 1991年2月19日、20日
事業戦略の構築 基調講演「新環境と事業戦略」
- 第4回 1991年7月15日
O.C.M.—新教育が会社を変える—
- 第5回 1991年11月15日
経済環境の転換に即した一強力組織の形成—
基調講演「事業環境の転換にどう対応するか」
- 第6回 1992年2月27日
'92年度環境の変化に即した一新戦略の発動計画—
基調講演「戦略環境の転換にどう対応するか」
- 第7回 1992年6月19日
'90年代の戦略構築—知的生産性の強化政策—
基調講演「知的生産性の時代」
- 第8回 1992年11月18日
市場・金融調整下の一経営リストラクチャリング—
- 第9回 1993年7月7日
攻めとしての一経営リストラクチャリング—
- 第10回 1994年2月16日
94年次経営立ち上り施策 潟中を抜けるための新企業競争力
- 第11回 1994年7月15日
企業意思のリデザイン

▼從来御参加企業（敬称略、順不同）

アサヒビル、安田火災海上保険、秩父セメント、フジクラ、興亜石油、小田急不動産、日東化学工業、日本建鐵、ダイナボット、有楽土地、日清製油、旭化成建材、東陶機器、ライオン、オリイ、三菱電機、飛島建設、リオン、ゼクセル、デュポン、雪印乳業、菱江化学、ニチレイ、帝人、太平洋金属、住友建設、コスモ開発、持田製薬、文化シヤッター、広池学園、コマツ、イトーキ、日本電子開発、オルガノ、能美防災、オムロン、アルプス電気、日本信号、三井造船、大成建設、ソニー、ヤクルト本社、サッポロビール、大日本印刷、スズキ、双葉電子工業、東邦薬品、住友化学、リコー、味の素、栗田工業、日本ユニシス、理研ビニル工業、日本合成ゴム、HC企画、ロッキンガム、日本ゼオン、日本農業、日立情報システムズ、不動建設、日本セメント、川崎汽船。

[現研活動5つの柱]

1. 長・短期経営戦略構想の立案、展開計画の編成、指導
2. 事業成果を左右する諸問題の解決、ならびに組織の活性化
3. 次期経営者を含む経営各層の能力開発
4. 経営諸環境の基礎的調査、ならびに市場研究
5. 新事業開発の企画と実施の指導

パワーアップ研究セミナーの趣旨

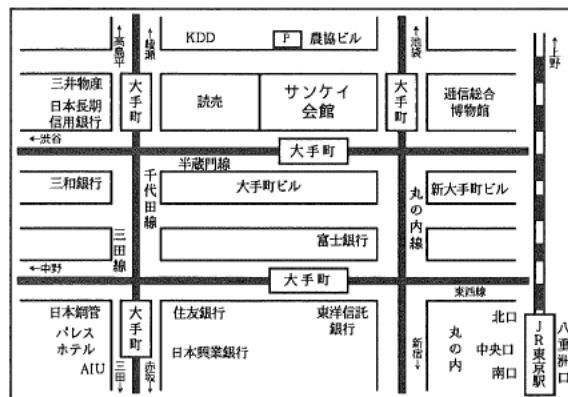
当セミナーは、現状の壁を乗り越え、新時代に向けたマネジメントの刷新を目指す方々に対し、時宜を捉えて経営の重点的な課題についての現研の考え方をご提案し、また有力企業の経営構想・新事業開発・人材育成等の指導を通じて確立した現研の開発型アプローチの手法の一部を紹介する機会です。

各回のご好評にお応えし、このたび第11回を開催するに至りました。当所独自の視点からの政策提案に加え、質疑応答、討議を通じた受講メンバーの思考過程を重視し、深く踏み込んだ問題発見、開発のための一層の能力アップと技術の浸透を企図しております。

<セミナー会場案内図>

サンケイ会館

東京都千代田区大手町1-7-2 ☎ 03-3273-2258



JR : 東京駅丸の内北口より 5分

地下鉄 : 丸の内線 大手町下車 A4 出口

東西線 大手町下車 A4 出口

千代田線 大手町下車 A4 出口

半蔵門線 大手町下車 A4 出口

都営三田線 大手町下車 A4 出口

現研

企業意思のリデザイン

第11回パワーアップ研究セミナー

発展条件の確立

- 事業の長期方向性の確立
- 新マネジメント・システムの構築
- ソーシャル・イン体制の推進

転換につながる政策重点

戦略意思をどう展開するか

今回のパワーアップ研究セミナーでは、リエンジニアリングに携わる方、経営職、部長職、コーポレイト・スタッフのご参加をお勧めします。

講 師 : 鈴木 成裕

日 時 : 1994年7月15日 (金)

13:20~17:00

場 所 : サンケイ会館(大手町)

6F 602号室

*裏面地図をご参照下さい。

現研

株式会社現代経営技術研究所

東京都文京区本郷1-25-25日商連ビル

☎ 03 (3813) 7338㈹

〒113

現研

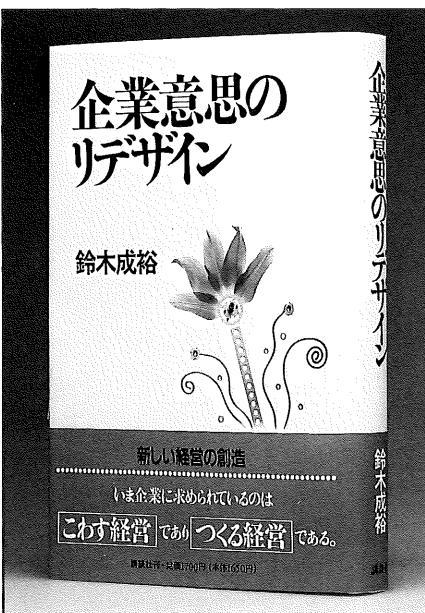
株式会社現代経営技術研究所

テーマ： 経営の根幹を揺るがしかねない外部環境の圧力と長引く不況のもたらす将来への不安の中で、現状突破を通じて新たな企業競争力を確立する年。どの社も共通と考える戦略推進の重点事項と企業意思のリデザインを提唱。

<リデザインの趣旨>

すでに、不況に入る以前から、競争環境や社会環境は大幅に変わっており、企業が自社の全領域を点検し、新しい企業意思のリデザインを行なうことが必要になっていた。不況に入ると、緊急問題の処理に追われてその期を逸した。そして、①リストラクチャリングが叫ばれ、実施に移った。本来、リストラクチャリングは構造の再変革を意味する言葉で、事業構造をどう変えるか、マネジメント構造をどう変えるかがポ

イントであったが、人員構造の変革、すなわち人件費の削減という方向に、多くの企業は向かった。②引き続いて、リエンジニアリングが発生したが、これは開発を含む「業務遂行過程」を中心に置かれ本格的な今後の事業戦略や経営管理、システムの改革はこれから的问题となつた。



(講談社・新刊)

これらの活動が成果を挙げるためには、長期的な経営の意思、中期的な事業運営計画と、それに基づく現在のシステム、管理の革新が必要である。すなわちリデザインが必要である。そしてさらにリデザインの推進構想が必要である。

セッション I 13:20~14:50

リデザインの推進

現研所長 鈴木 成裕

1. 事業変革の方向と落とし穴
2. 競争環境の焦点
3. リデザイン—リストラクチャリング—リエンジニアリングの循環
4. リデザインの焦点
5. リデザインの技術
6. 教育の転換のすすめ方
7. 企業意思と経営

<コーヒーブレイク>

セッション II 15:00~16:00

質疑と討議

司会：現研主任研究員 萩野 齊之

- 将来戦略に則した部門問題をどう見るか
- 実行過程にある障壁問題、突発事項への対応、情報問題、戦略と実践の間のギャップと業務設計力
- * 参加者の積極的な質疑・討議を希望します。特別に討議事項のご要望がありましたら事前にご連絡下さい。

セッション III 16:00~16:50

要約と注意—今までの総括

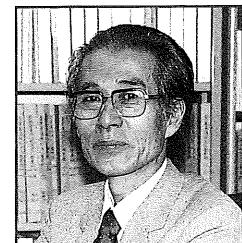
鈴木 成裕

1. 自分の意思でやったことだけが、失敗は身に應える。成功のソフトが身につく。一実行のすすめ
 2. 伸びないのは、伸びないのが当たり前と無意識に思っているからだ。
 3. 自社の体質転換の遅れは致命的である。
 4. 企業意思明確化のコツ。
- * 16:50から10分程度出席された方々のお名刺の交換の時間をお取り致します。

<講師紹介>

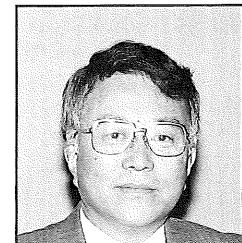
鈴木 成裕

経営政策、システム開発、教育指導に重点を置いて、企業・団体の経営コンサルティングに携わる。著書：「システムの時代」、「経営転換の構想」、「自分を超える思考」、「戦略教育」ほか、多数。



萩野 齊之

経営計画、情報システム、技術教育、生産問題を中心に、経営コンサルティングを推進。



▼お申し込み

同封の返信用ハガキにてお願い致します。
* ご予定の方がご都合の悪い場合には、代理の方のご出席をお願い致します。

▼参加費用 20,000円（資料代を含む）

* 消費税については別途申し受けます。

▼お支払い

お申込み頂き次第、参加証とご請求書を郵送させて頂きます。お振込に当たりましては下記の銀行をご利用下さいようお願い致します。

あさひ銀行本郷支店 普通預金口座：453-219617
株式会社現代経営技術研究所

* 銀行振込の場合には、特にご要望のない限り、領収書は発行致しませんのでご了承下さい。

<お問合わせ>現研 セミナー事務局

(坂川 田中) ☎ 03-3813-7338